

広島県竹原市 しもみふくみ 下見福美資料 仮目録

広島県立文書館

平成 28 年 (2016) 6 月

凡 例

- 1 本目録には、広島県竹原市 下見福美資料を掲載した。
- 2 目録の各項目は次のとおり。

請求記号 本文書群の群番号は (200703) と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 → 200703/1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採った。
年 代 資料に記された作成年月日を探り、推測した場合は () 書きで表記した。
作 成 資料の作成者・編著者名を表記した。
形 態 資料の形態を記した。
数 量 資料の点数を記した。
備 考 資料の状態等、特に留意すべき点があれば適宜記した。

- 3 文書の配列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

【文書群概要】

広島県竹原市 ^{しもみふくみ}下見福美資料（請求記号 200703）

海軍丙部隊の「帰還人員内定連名簿」

出所 下見福美

出所地名 竹原市

分量 1点（1冊）

収蔵までの経緯 下見福美氏の死後、平成19年5月にその次女から当館へ寄贈された。

年代 昭和20年（1945）頃

歴史 下見福美（1910～1992）は海軍主計中尉。経歴は不明だが、寄贈文書の「第百二海軍軍需部マカッサル支部 二」に下見福美の名がある。

内容 第二次世界大戦終結により、インドネシアから日本への引揚げが内定した海軍丙部隊の名簿。カーボン複写されたB5版の海軍用紙58丁。名簿には、本籍地、帰郷先（連絡先・駅名）、所轄（勤務期間）、官等級、氏名、電報符又ハ入籍番号、備考欄が記載される。名簿の内訳と人数は次の通り。「第百二海軍軍需部マカッサル支部 一」114名。「同 二」114名。「第百二海軍軍需部ケンダリー支部」151名、「第百二海軍工作部マカッサル分工場」3名、「第百四建設部」13名、「第百二海軍経理部マカッサル支部」49名、「スラバヤ海軍運輸部マカッサル支部」7名、「第二十五海軍軍用郵便所」14名、「第三気象隊スラバヤ支隊マカッサル気象観測所」9名、「同ケンダリー気象観測所」8名、「第七特設輸送隊マカッサル支隊」21名、「第二十一糧食生産隊ケンダリー出張所」19名。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2015.4.24 記述／西村 晃）

200703／1

帰還人員内定連名簿

(終戦時か)

海軍丙部隊

縦冊・1冊

B5版, 58丁
